



『塾内イベント』『オリンピック』『全国大会』の3つを連動させ満足度を強化 イベントマッピングシステムのご案内

【イベントマッピングシステムとは】 **本年10月よりスタート**

毎月実施のパズルオリンピック、年3回の塾内（授業内）トライアル、全国大会（塾内）の3つのイベントを新たなルールをもとに連動して受講生および指導者のレベルアップを図るシステムです。

本システムは以下を大前提としています。

- ① 現場の先生の負荷を最小限に。
- ② シンプルでわかりやすい仕組み。
- ③ 成果を高め、保護者&生徒の満足度を高める→生徒増へ。

【イベントマッピングシステムの概要】 ※実施はすべて任意

1 30分間の映像問題を核とする

教室で問題を大画面に映し、解答を手元の紙に記入する形式。

→以前、東京で実施していた全国大会の『映像問題』のフォーマットを使います。（内容は異なります。）

→『塾内トライアル』も『全国大会』もこのフォーマットを使用、出題内容は『オリンピック』と同様。

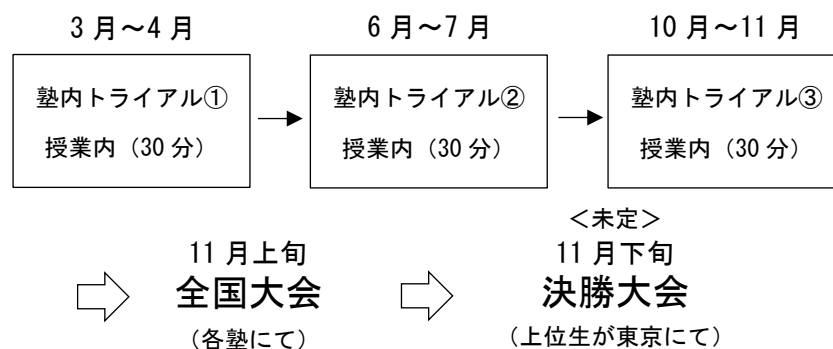
2 年間3回の塾内トライアル（授業内実施）と全国大会（各塾実施）の連動

・上記の30分間の映像問題3回分を毎年本部より供給します。（事前にダウンロード）

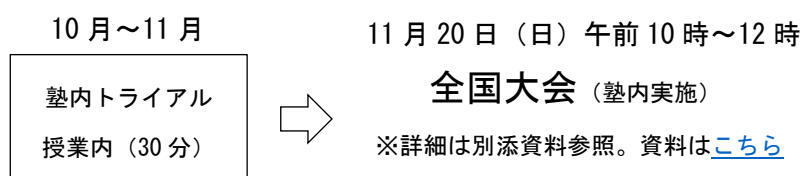
・本年度の塾内トライアルは10月からのため1回分を供給します。

・全国大会では上記の類題が当日に配信され、生徒はそれを見て、手元のマークシートに解答を記入します。

<2023年度 実施例>



<2022年度実施例> ※年度途中のため塾内トライアルは1回のみとなります。



(補記)

- ① 塾内トライアルの場合の解答方法は『通常の解答記入』か『マークシート』のどちらかの選択となります。『マークシート』の実施方法については『マークシート集計システム提案』に記載しています。マークシートの機材についてもご案内いたします。『通常の解答記入』については各塾で採点してください。全国大会はマークシートですが、用紙を本部に郵送いただき処理しますので塾での機材の準備の必要はありません。
- ② 全国大会は、30分間の映像問題の他にパズル道場開発者山下 善徳の理論訓示 20分～30分、さらには立体四目選手権（マニュアルありで60分）の合計2時間となります。塾内トライアルも授業内での実施ではなく、別の日時に全国大会類似の立体四目選手権とセットで90分～2時間のイベントにできます。
- ③ 塾内トライアルは、外部生も参加させて集客イベントを兼ねることも可能ですが、あくまでも内部生メインであることをお勧めいたします。なお、外部生を参加させる場合には事前に出題される教材サンプルを配布することをお勧めいたします。（全国大会の参加はパズル道場受講生のみです。）
- ④ 塾内トライアル（年3回）は、授業内で実施すれば全員参加ができるので、そのデータにより生徒の成果や指導者の成果を数値化することが可能となります。
(毎年問題は新規作成しますが、内容は同じです。)
- ⑤ 下記の③の通り、パズルオリンピックと同内容が出題されますので、パズルオリンピックの参加率向上にも役立ててることができます。

3 映像問題の内容と対策

<塾内トライアル>

- ①パズルオリンピックレベルB・Cの類題（約33%）
- ②パズルオリンピックレベルAの類題（約33%）
- ③パズルオリンピックレベルS・SSの類題（約33%）

<全国大会>

- ①パズルオリンピックレベルB・Cの類題（約30%）
- ②パズルオリンピックレベルAの類題（約30%）
- ③パズルオリンピックレベルS・SSの類題（約30%）
- ④数の分解（約10%）

生徒DX映像教材の、数（量感）の10級～1級。（検定の級ではない。）

ただし制限時間は映像とは異なる。なお、この内容は検定プログラムにも含まれる。

対策

- ・毎月のオリンピックおよびオリンピック対策サイト
- ・生徒DXの映像教材（全国大会のみ）
- ・その他パズル道場のすべてのプログラム

4 まとめと補足

イベントマッピングシステムを『IMS』という略称とし、専用 web サイト『IMS/全国大会』をアップしました。毎月送付の『マンスリー通信』に URL と QR コードを記載いたします。

IMS と全国大会の情報や資料・教材（映像）はすべてこちらにアップいたします。

（注）データ BOX にはアップしません。

＜現場の先生方へ＞

IMS は現場の先生方の負荷を最小限にすることを大前提に考えておりますが、それでも先生方の業務は増えてしまいご負担をおかけすることになります。しかしながら、生徒増の為の強化策ですので、何卒、ご理解のほどよろしく願いいたします。

塾業界も様々な要因が重なり未曾有の厳しい環境となっております。おかげ様でパズル道場は昨年同様の受講生をキープしておりますが、コロナが収束したとしても、簡単に以前のようになるとは考えにくい状況にあるかと思われまます。

パズル道場が各塾の本科の生徒増の切り札の 1 つとなるべく、様々なバージョンアップを行ってまいりましたが、IMS は『生徒の成果を高める』ことに主眼を置いたバージョンアップです。生徒の成果は？（伸びているか？）、先生の指導は適切か？

これらを検定よりもシンプルかつダイレクトに数値化することができる仕組みです。

パズル道場としては、今こそ『商品の質の向上』が一番であると考え、年度途中ではありますが実施に踏み切りました。（来年からの実施予定を前倒しにしました。）

以上、引き続きよろしく願いいたします。

パズル道場 山下 善徳